



こちら三原市消防本部!



▲市HP

☎ 消防本部(TEL) 0848-64-5910

令和5年4月号から始まった本コラムは今月で終了します。私たち消防本部は、これからも市民の皆さんの安心・安全を守るため全力を尽くします!引き続き、市民一丸で防火・防災に努めましょう。

今月のテーマ

火の取り扱いに気を付けて!

いざという時の緊急連絡

子どものけがや病気に関する相談

小児救急医療電話相談 (#8000)

☎ 19時～翌8時

☑ での緊急通報もできます (119番)

いつもと様子が違う、おかしい場合は迷わず119を!

もしものときの救急車利用マニュアル▶



3月は市独自の火災予防強化月間です



1～7日の春の火災予防運動に加え、火災が集中する3月を市独自の「火災予防強化月間」とし、草焼きの実施者に対する啓発を行っています。家庭でもたばこの始末に気を付け、暖房器具などを正しく使い、火災を予防しましょう。



草焼きやたき火が原因 大きな火事になることも



焼失面積は、マツダスタジアム約34個分の広さ!

広島県は全国でも有数の「山火事」が多い県です。山での火事は水源が乏しいこともあり、鎮火までに長い時間がかかるのが特徴です。市内では平成24年10月に約43ヘクタールを焼失する山火事が発生し、原因はたき火の延焼でした。

空気が乾燥する1～5月は火災が多発します。火を扱う前に消火の準備をし、草焼きやたき火からは目を離さないようにしましょう。



三原市シティプロモーション

(Vol.18)

市民によるまちのPRチーム

ぐっとみはら編集部

らっきー神社のタコはどこから?

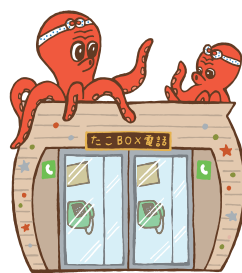


▲鳥居の後ろにいるタコを調査

たぐひつらぐひ... 受験シーズンになるとJR三原駅構内にお目見えする「らっきー神社」。そこに鎮座するタコはどこからやって来たのか、話を伺うためJR三原駅を直撃しました。すると、タコは三原観光協会から預かっているのだとか。次に三原観光協会を訪れたところ、どうやらかなり前から三原観光協会にあったことは確かなものの、もともと所有していたわけではない様子。調査を諦めかけたとき、二十数年前に、港にいたタコが三原観光協会へ運ばれたという話を知る市の職員を発見!

市職員のによると、タコは昔三原港にあった公衆電話ボックスの上に飾られていたそうです。三原港東側の公園の整備時に電話ボックスを移動し、そのタイミングでタコを撤去。ここからは推測ですが、おそらく観光に使えるオブジェとして再利用するために、三原観光協会へ寄贈されたのではないかとのこと。そもそも持ち主は判明しませんでした。やはり「らっきー神社」のタコは港にいたようですね。海の近くの電話ボックスの上に!

電話ボックスの上にあった!?



▲港にいた頃のタコのイメージ

今回の調査依頼

「らっきー神社」のタコが昔、港にいたって本当ですか?

港町在住 50代



ぐっとみはら編集部とは?

市や市民に関わる人たちが集まり活動するまちの広報チームです。

Instagramをチェック!



三原の魅力を発掘・発信しています。

まちの疑問を募集中!

皆さんからのまちの疑問や調べてほしいことを受け付け中!



応募フォーム▲

市長 × 偽情報

災害時の偽情報には
注意しましょう



令和6年能登半島地震でお亡くなりになった人たちに謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

能登半島地震では、家屋の倒壊や土砂災害、火災などにより多くの被害が発生しました。消防や警察、自衛隊なども出動し懸命に救助活動を行うなか、支障となったのがSNSで発信された偽の救助要請などでした。

SNSなどの普及により、偽情報の拡散速度と範囲はかつてない規模で増大しています。加えてAI技術の進歩によって、人間の目では見分けがつかないほど精巧に作られた偽画像や偽動画が、さらなる混乱を引き起こす事例も確認されています。

平成28年熊本地震では、「動物園からライオンが逃げた」と偽情報を投稿した人が、偽計業務妨害の疑いで逮捕されました。三原市でも、平成30年7月豪雨災害時に「浸水しているが救助が来ない、助けてほしい」という偽の救助要請や、「他県ナンバーの車でレスキュー隊の制服を

着た窃盗団が被災地に入り込んでいる」などの偽情報が拡散されました。これらのデマは、被災者のパニックや混乱を引き起こし、救助活動や避難者の支援の遅れにつながります。

災害に乗じたデマは人の感情を揺さぶりやすいため、注意が必要です。SNSでの刺激的な情報に触れたときは、「すぐに拡散せず、時間をおく」「情報の発信元が信頼できるか見極める」など、冷静な判断と行動をお願いします。



Kia Ora! MIHARA

ニュージーランド出身の
国際交流員コラム

● Vol.6 ●



CIR (国際交流員)
ジェイク・ロップさん



「ホリ・フェスティバル」はカラフルな色粉をぶっつけ合い、踊って歌います。

ニュージーランドでの異文化交流

ニュージーランドの人口は約527万人で、広島県の人口の2倍弱ほどです。自らを「ニュージーランド人」または「キウイ」と称する国民のうち、約69%がヨーロッパ系、約15%がマオリ系、約9%がアジア系、約7%がマオリ以外のポリネシア系の民族です。

さまざまな文化や言語が混在する国なので、多文化を祝うイベントがたくさん開催されています。私の故郷クライストチャーチでは3月に、日本の伝統文化とポップカルチャーの祭典「ジャパン・フェスタ」と、豊作を祈るインドのお祭り「色彩の祭典：ホリ・フェスティバル」が2大文化祭として開催されます。楽しい祭りなので、ニュージーランドを訪れる機会があればぜひ参加してみてください！

知ってる?
ニュージーランド

国としての始まり

1840年、500人ほどいたマオリの長が署名したワイタンギ条約が結ばれ、ニュージーランドは大英帝国（現在のイギリス）の植民地となりました。独立したのは1947年。まだまだ若い国です。

Information for foreign nationals in Mihara

Catalog Pocket

広報誌が10の言語で読める！



Google Play



App Store

Instagram & Facebook

CIRが三原の魅力などを発信中!



Instagram



Facebook

●多言語相談窓口(市役所本庁4階)
問 経営企画課 TEL 0848-67-6270 FAX 0848-64-7101